

三里塚・ジエット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

# 闘う全金本山労組に連帯と支援を

日刊  
動労千葉

80.6.14  
NO. 456

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄道）二二五八九・（公連）03-227207

## 夏季物品販売に協力しよう！

全金本山労組は、二人の役員・活動家に対する不当解雇、団交拒否、組合分裂II第二組合結成、右翼暴力ガードマンのテロ・リンチ、さらには、七年余の長期ロックアウトなど本山資本のありとあらゆる違法・不当な組織破壊攻撃に対し、一人の首切りも許さない＝解雇撤回、全員の原職復帰を合言葉に十年の長期にわたって闘い抜いていた。全組合員のアルバイトと物品販売などで闘いを支えて来たのだ。従つて、現在、全支部で取組まれている全金本山労組の夏季物品販売に一人でも多く協力し、動労千葉と共に闘う全金本山の闘いを支援し、連帯しよう。

一人の首切りも許さない！－労働組合

の原則を守り抜く全金本山労組の闘い－

本山製作所は、仙台にある従業員六百人位のバルブメーカーである。この本山製作所において、十年前、闘う全金本山支部をつぶすため、組合の中心的活動家青柳充氏を配転拒否を口実に不当解雇した。（一九七一年三月）この会社側の攻撃に対する青柳氏の解雇撤回闘争をもって本山闘争が始まった。

本山資本は、「全金がつぶれるか、会社がつぶれる今までやる」「自由社会を守るために闘う」といつて、①組合分裂II第二組合のデッチ上げ（一九七一年八月）②右翼暴力ガードマン導入（一九七二年五月）→全金本山支部組合員に対するテロ・リンチ、③熊谷春男氏不当解雇（一九七二年一月）、④全金本山支部のみロックアウト（一九七二年一二月）、さらに、仙台地裁の解雇無効の仮処分決定、宮城地労委の命令、労働省の行政指導などをもことごとく無視しつづけるという極めて凶暴な攻撃をもって闘う全金本山支部におそいかつってきた。

これに対し、全金本山支部は、「一人の首切りも許さない」という労働組合の原則である「全体は一人のために、一人は全体のために」を守り、十年間、一貫して闘い抜いている。

そして、この全金本山支部の闘いに対し上部組織からの「解雇撤回なしの和解策動、さらには、除名処分などしめつけと闘争解体攻撃が数年にわたり行なわれ、ついに、本年二月八日、新組合II全金本山労働組合を結成し、あくまでも解雇撤回II原職復帰、暴力労政糾弾のスローガンを高々とかかげ闘い抜いている。

激動の八〇年代の闘う拠点を全国の力で守り抜こう！

全国各地に「本山のよう闘おう」「本山闘争を

めさせ」と一千を超える争議団の闘いが拡大しつある。

激動の八〇年代に突入し、既成労働運動の右翼的・体制内化が急ピッチで進む中で、この闘いは、三里塚闘争及び、わが動労千葉の闘いと結合する労働者の闘いとして全国的に燃え拡がろうとしている。

全組合員の皆さん！

全金本山労組のよびかける夏季物品販売に一人

でも多く協力し、成功させよう。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

各支部に掲出してある「注文書」に記入して注文して下さい。